

## Lesson 6 My Dream

本単元で育成する資質・能力

【思考力・判断力・表現力】④豊かな表現力

日 時 : 令和2年11月13日(金)  
 場 所 : 2年2組教室  
 学年・学級 : 2年2組38名(男子21名 女子17名)

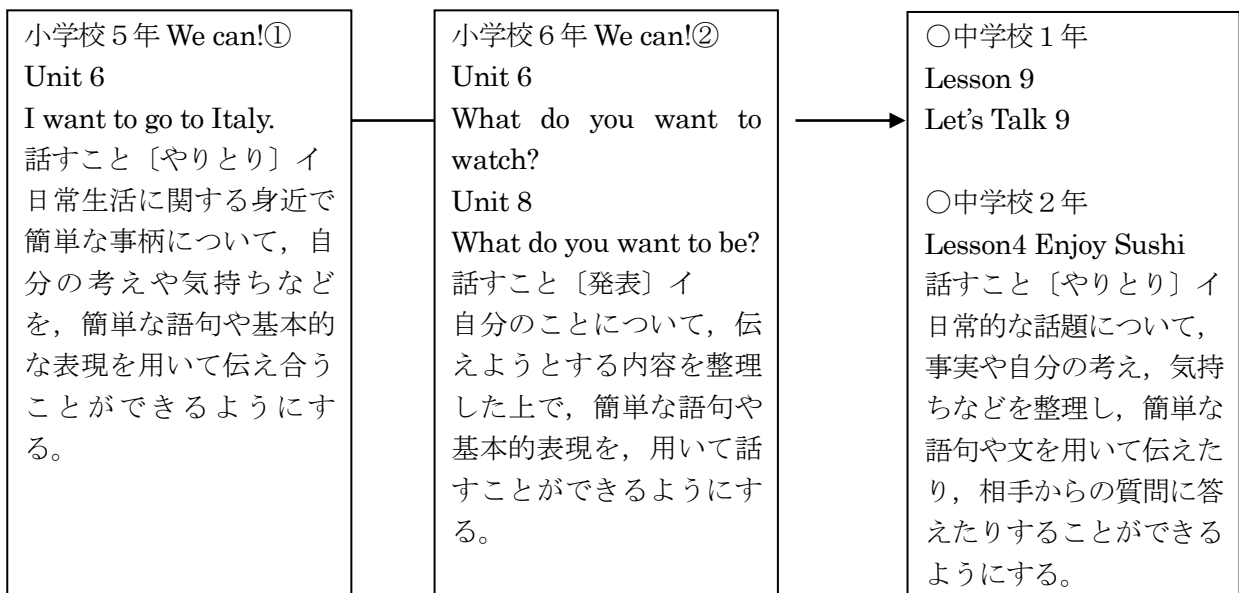
## 単元観

本単元では、登場人物のエマと健の職場体験プログラムに参加する英文を通して、生徒が働くことへの関心を高め、それを基に自分の将来の夢や目標、好きなことについて考えることができる内容となっている。言語材料としては、不定詞の名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法が使われており、本単元を通して、自分の意見や考え、事実などを理由や条件とともに伝えることを一つの目標としている。

そのため、本単元では、中学校学習指導要領(平成29年告示)外国語「話すこと〔発表〕」の「(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」に関する指導と位置付ける。この目標に向け、目的や理由を明確にししながら、自分の行動や考えについて伝える内容を整理させる力を養う。また本文の内容を参考にしながら、既習文法事項と新出文法事項を組み合わせ、積極的に話す態度や相手意識もって、前後の文脈を意識しながら具体的に自分のことについて表現する力を養う。

～学習内容の関連(系統性)～

本校の生徒は、外国語活動でHI, friends!1,2を使用し、該当箇所を既習済みである。



## 本単元において育成しようとする資質・能力との関わり

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。

【知識及び技能】 ①生きて働く基礎学力 ②コミュニケーション能力  
【思考力、判断力、表現力】 ③課題発見、解決力 ④豊かな表現力  
【学びに向かう力、人間性】 ⑤思いやりと協調性(忍耐力)

この中から、本単元において育成する資質・能力との関わりについて、次の④点に重点を置くものとする。

### ④豊かな表現力

与えられたテーマについて、事実や自分の考え、その理由などをまとめ、表現する力を育成する。

話し手として、伝えたい順番を考え、理由の根拠などを明確にし、聞き手に興味をもってもらえるような表現力を育成する。

## 生徒観

本学級の生徒の2学期中間試験の結果は、次の通りである。

	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
2学期中間試験	41.4%	68.8%	49.6%

全体的にどの観点も正答率が低い傾向にあるが、その中でも「外国語表現の能力」では、条件英作文の設問に対する回答が非常に低い。「言語や文化についての知識理解」では、並べ替え問題の正答率が特に低く、単語の意味は理解しているが、日本語と英語の語順の違いが上手く理解できず、多くの生徒が日本語の語順に引っ張られた英文を書いてしまうなど、主語と動詞の関係性の理解が乏しいことが明らかになった。

この課題については、「好きな有名人」について、スピーチの原稿を作成した際にも同じことが言えた。語順の違いを意識させるために、授業の中で「日本語英語」にする活動を行った際、「私は、サッカーをします。」を「私は、します、サッカーを。」といった形で、日本語を英語の語順に並べ替える作業が、一部の生徒に対しては比較的有効であり、原稿作成に向けて大きな手立てとなったが、大部分の生徒にとっては、自分の書いてきた日本語の紹介文の文節の区切りがよくわからず、どこまでが一つの英単語で表現できるのか混乱してしまうことにつながってしまったのである。スピーチでは、6文以上で伝えようとする点では条件をクリアすることでできていたが、調べてきた情報について、伝える順番を特に意識せず完成した順に英文を並べてしまっている生徒が多くいた。一文を見れば正しい英語で書けているが、全体を見たときに文章校正を意識できていないスピーチが多く見られた。

これらの現状をふまえて本単元では、言語活動やリーディング活動を通して、改善につながる手立てを毎時間で仕組んでいきたい。

## 指導観

### 【本単元で育成しようとする資質・能力】

○【思考力・判断力・表現力】

本単元では、単元のゴールであるパフォーマンス活動を「与えられたテーマ（自分の将来の夢や、行ってみたい国）についてスピーチをする。」と設定した。このパフォーマンス活動に向けて、今回の単元で重点的に取り組むことが2つある。

1つ目は、言語材料の導入時や展開時には、ターゲットとなる言語材料を活用した言語活動を行い、それらを必ず自己表現活動につなげることである。新出文法事項の導入時における言語活動では、必ずペア

やグループでスピーキングの活動を行わせ、さらにその活動で話したことを基に、自分の意見や考えを書かせる場面を設定する。書くことでターゲットとなる言語材料の使い方への理解を深めさせるためである。本単元で特に力を入れたいのは、「主語と動詞の関係性の理解を深める」ことなので、視覚支援として、主語と動詞を色分けして、視覚的にどこに動詞がくるのかわかるようなワークシートを作成する。さらに、自己表現で使用したワークシートを、ポートフォリオとして意識的に利用させるように仕組み、それらを参考にすればスピーチ原稿の作成が容易になるように活動をつなげていきたい。

2つ目は、教科書本文の内容理解時に、単元末に実施するスピーチの文章構成を考える上で、ヒントになる活動を行うことである。例えば、教科書の本文を読む際には、あえて文の順番をランダムに提示する。これは、どの順に並べ替えれば正しい文章になるのか考えさせ、前後の単語のつながりや文脈、代名詞の関係を意識できるようにさせることを目的としている。このように、すべての活動を、生徒がスピーチ原稿作成時に手立てとして利用できるような形で実施し、前回のスピーチで浮上した、「文と文のつながりが意識できていない」「代名詞をうまく活用できていない」といった課題を、少しでも改善の方向に持っていきけるようにしたいと考えている。

これらの手立てによって、単元末のパフォーマンステストでは、英語の語順や文章校正を意識したスピーチができるようにつながりのある指導をしていきたい

### 単元の目標と評価規準、資質能力の評価

#### 【単元の目標】

- ・不定詞の意味や用法を理解し、本文を参考にしながら自分の意見や考えを伝えることができる。
- ・与えられたテーマに沿って、新出文法事項を活用しながら、自分の意見や考えを伝えることができる。
- ・伝える内容や順番、理由などを意識して、聞き手にわかりやすく表現することができる。

#### 【単元の評価規準と育成を目指す資質・能力の評価基準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	不定詞を用いた文の構造を理解し、事実や自分の考え・気持ちなどを整理したり、相手の伝えたいことを理解したりする技能を身に付けている。	与えられたテーマについて、必要な情報を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどをふまえながら、不定詞を用いて伝えようとしている。	ペアやグループの活動において、新出事項を活用しながら、自分の考えなどを伝えようとしている。
資質・ 能力 の 評 価 基 準		<p>④豊かな表現力</p> <p>1つテーマについて、事実や自分の考え、その理由などをまとめ、表現しようとしている。</p> <p>伝える順番や理由の根拠を意識し、聞き手に興味をもってもらえるように表現しようとしている。</p>	

## 指導と評価の計画

全15時間 (本時は 5 / 15 )

次	学習内容(時数)	評価の観点			生徒の思考の流れ	評 価 ◇ 評価規準 ◆ 資質・能力
		知技	思判表	主体的		
1	不定詞の名詞的用法を理解する。(3)  ・不定詞の名詞的用法を使って、条件に合った英文や自分のことについて表現できる。			○	・動名詞と似ている働きがあるな。 ・I like の後に to を入れるのを忘れて I like play soccer. と言ってしまうな。	◇ペアやグループの活動において、新出事項を活用しながら、自分の考えなどを伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
	・不定詞の名詞的用法の意味や用法について理解できる。	○			・すべての動詞の後に、to を付けることができるのかな。他にどんな動詞が来るのかな。 ・疑問文にするときは、文頭に何がくるのかな。	◇不定詞を用いた文の構造を理解し、事実や自分の考え・気持ちなどを整理したり、相手の伝えたいことを理解したりする技能を身に付けている。(知識・技能)
	・不定詞の名詞的用法が使われたエマと健の対話を読んで、内容が理解できる。		○		・スピーチをする時に、この表現は使えそうだな。 ・話のつながりを意識するには、反応が大切だな。 ・want to go to は to が2つもあるから難しいな。	◇与えられたテーマについて、必要な情報を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどをふまえながら、不定詞を用いて伝えようとしている。(思考・判断・表現)
2	不定詞の副詞的用法を理解する。(2)  ・不定詞の形容詞的用法の意味や用法について理解できる。	○			・理由を表すときには、because って習ったけど、目的を表現するには、to でも説明できるのだな。	◇不定詞を用いた文の構造を理解し、事実や自分の考え・気持ちなどを整理したり、相手の伝えたいことを理解したりする技能を身に付けている。(知識・技能)
	・不定詞の名詞的用法と形容詞的用法を組み合わせながら、与えられた条件に従って自分のことを表現できる。 (本時)		○		・to の後に動詞が来るから、前後の文のつながりを意識しないとイケないな。 ・なぜ行きたいのか理由を考えるのは難しいな。	◇与えられたテーマについて、必要な情報を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどをふまえながら、不定詞を用いて伝えようとしている。(思考・判断・表現)
3	不定詞の形容詞的用法を理解する。(3)  ・不定詞の形容詞的用法を使って、条件に合った英文や自分のことについて表現できる。			○	・飲み物は drink something じゃなくて something to drink で後ろから説明するのが難しいな。	◇ペアやグループの活動において、新出事項を活用しながら、自分の考えなどを伝えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の形容詞的用法の意味や用法について理解できる。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>「温かい」や「冷たい」のような形容詞はどこに入れたらいいのだろう。</li> </ul>	◇不定詞を用いた文の構造を理解し、事実や自分の考え・気持ちなどを整理したり、相手の伝えたいことを理解したりする技能を身に付けている。(知識・技能)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の2つの用法が使われた健の感想文を読んで、内容が理解できる。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>文章構成を考えるときには、代名詞 <b>there</b> が何を指しているかを考えないといけない。</li> <li>誰がどうした、主語と動詞の順番が難しいな。</li> </ul>	◇与えられたテーマについて、必要な情報を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどをふまえながら、不定詞を用いて伝えようとしている。(思考・判断・表現)
4	<p>健のスピーチ原稿を読んで内容を理解し、スピーチ原稿作成に向けて、必要な情報や表現について整理し、まとめることができる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健の <b>My Dream</b> のスピーチを読んで、内容が理解できる。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすい文章構成にするためには、主張が先にくるのだな。</li> <li>理由を表すときには、<b>I have ○○ reasons.</b>で、1つ目は、<b>First</b>、2つ目は <b>Second</b> を使うのだな。</li> <li>3つ目は <b>Third</b> でいいのかな。</li> </ul>	◇与えられたテーマについて、必要な情報を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどをふまえながら、不定詞を用いて伝えようとしている。(思考・判断・表現)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健の <b>My Dream</b> を読んで、必要な情報や表現についてまとめることができる。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>結論は、<b>In conclusion</b> と書いてあるけど、<b>Last</b> やつ <b>Finally</b> も使えたりするのかな。</li> </ul>	◇不定詞を用いた文の構造を理解し、事実や自分の考え・気持ちなどを整理したり、相手の伝えたいことを理解したりする技能を身に付けている。(知識・技能)
5	<p>整理した情報をもとに、スピーチの原稿を作成し、ペアやグループで読み合い、本番に向けて、リバイズできる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチに向けて、原稿を作成できる。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>理由を紹介する時に、1文で終わらないようにするためには、どのような情報を追加したら良いのだろう。</li> <li>この英文の順で構成はいいかな。</li> </ul>	◇与えられたテーマについて、必要な情報を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどをふまえながら、不定詞を用いて伝えようとしている。(思考・判断・表現)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチに向けて、原稿を作成できる。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>この英文の順で構成はいいかな。</li> <li>思っていることをそのまま英語にするのは難しいな。</li> </ul>	◇与えられたテーマについて、必要な情報を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどをふまえながら、不定詞を用いて伝えようとしている。(思考・判断・表現)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成したスピーチの原稿をペアやグループで読み合い、リバイズできる。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの単語を使えば、相手にわかりやすい文になるだろう。</li> <li>相手にわかりやすく伝えるためには、どのようなところに気を付けたら良いのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇与えられたテーマについて、必要な情報を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどをふまえながら、不定詞を用いて伝えようとしている。(思考・判断・表現)</li> </ul>
6	<p>スピーチを行う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自信をもって、自分のスピーチ原稿をつかって与えられたテーマについてのスピーチをしたり、仲間のスピーチを聞きとったりできる。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで知らなかった職業の言い方がわかったし、理由も明確でわかりやすかった。</li> <li>自分の知らない単語を使っている人もいたから、全部理解するのは難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇不定詞を用いた文の構造を理解し、事実や自分の考え・気持ちなどを整理したり、相手の伝えたいことを理解したりする技能を身に付けている。(知識・技能)</li> <li>◆1つテーマについて、事実や自分の考え、その理由などをまとめ、表現しようとしている。伝える順番や理由の根拠を意識し、聞き手に興味をもってもらえるように表現しようとしている。(豊かな表現力)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の発表や仲間の発表についてチェックリストをもとに振り返り、成果と課題をまとめる。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手にわかりやすく伝えるためには、間や声も大きさも大切だな。</li> <li>次回スピーチをする時には、何に気を付けたら良いのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ペアやグループの活動において、新出事項を活用しながら、自分の考えなどを伝えようとしている。(主体的に取り組む態度)</li> </ul>

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 与えられたテーマに沿って、新出文法事項を活用しながら、自分の意見や考えを伝えることができる。

### (2) 本時の評価規準

- 与えられたテーマについて、必要な情報を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどをふまえながら、不定詞を用いて伝えようとしている。(思考・判断・表現)

### (3) 準備物

- 教科書、テレビ、iPad、ワークシート、キッチンタイマー、ベル、振り返りシート、表現カード

### (4) 学習の展開

学 習 活 動	○ 指導上の留意事項 ● 配慮が必要や生徒への支援	◇ 評価規準 ◆ 資質・能力 (評価方法)
<b>1. あいさつ・帯活動【5分】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ</li> <li>○ペアワーク (音読活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアで既習事項の確認のできる音読活動をさせる。</li> </ul>	

<b>2. 既習事項の復習【15分】</b>			
<p>○既習事項の確認 (不定詞の名詞的用法, 副詞的用法について)</p> <p>○不定詞を含む文構造定着に向 けての練習 (カードゲーム)</p> <p>○定着プリント</p>	<p>○既習事項である <b>want to</b>~, <b>like to</b>~と 関連付けた復習をさせる。</p> <p>○多くの例文を参考にさせ、<b>to</b> の後に様々 な動詞を結びつけさせる。</p> <p>○行動カードと目的カードを用意し、適切 な文が完成するよう、グループで考えさ せる。</p> <p>●カード別に色分けをし、動詞に注目する よう指示する。</p> <p>○カードゲームで使用した文を書かせる ことで、文の語順を整理させる。</p>		
<b>3. めあての確認 (本時の課題発見)【1分】</b>			
<p>○めあての確認</p>	<p>○本時が単元末に行うスピーチの原稿作 成につながることを意識させる。</p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p><b>【めあて】</b> 行きたい場所とその理由について、<b>to</b> を使って尋ねたり伝えたりできる。</p> </td> </tr> </table>			<p><b>【めあて】</b> 行きたい場所とその理由について、<b>to</b> を使って尋ねたり伝えたりできる。</p>
<p><b>【めあて】</b> 行きたい場所とその理由について、<b>to</b> を使って尋ねたり伝えたりできる。</p>			
<b>4. 行きたい場所とその理由について考える (課題解決)【24分】</b>			
<p>○表現活動 (ペア活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横ペアで相談し合いながら、各 場所のできることをメモする。</li> <li>・自分の行きたい場所について、 理由を考える。</li> </ul> <p>・縦ペア・斜めペアになり、疑問 詞を使って、行きたい場所や理 由を質問し合う。</p>	<p>○映像や写真等を提示することによって、 その場所でどんなことができるのかイ メージさせる。</p> <p>●参考になるモデル文やそれぞれの場所 で用いる語彙を提示することで、自分が その場所でできることを考えやすくす る。</p> <p>○早くできたペアは、さらに理由を付け加 えさせたり、教師が紹介していない場所 について自分の考えを書かせたりする。</p> <p>○ペアで質問し合う内容を全体で確認さ せる。</p> <p>○既習である相槌や表現をテレビに提示 しておく。</p>	<p>◇与えられたテーマにつ いて、必要な情報を整理 し、事実や自分の考え、気 持ちなどをふまえながら、 不定詞を用いて伝えようと している。 (思考・判断・表現) (行動観察)</p>	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>予想される生徒の会話例</p> <p>A : Hi, how are you doing?</p> <p>B : I'm good. Thank you. And you?</p> <p>A : I'm OK. Where do you want to visit this winter?</p> <p>B : I want to visit Hokkaido.</p> <p>A : Why?</p> <p>B : I want to visit there to eat delicious seafood.</p> <p>A : That sounds nice.</p> <p>B : How about you?</p> <p>A : I want to visit Tokyo.</p> <p>B : Why do you want to go there?</p> <p>A : I want to visit there to go to Disney Land.</p> <p>B : Wonderful!</p> <p>A : Thank you for taking.</p> <p>B : My pleasure.</p> </td> </tr> </table>			<p>予想される生徒の会話例</p> <p>A : Hi, how are you doing?</p> <p>B : I'm good. Thank you. And you?</p> <p>A : I'm OK. Where do you want to visit this winter?</p> <p>B : I want to visit Hokkaido.</p> <p>A : Why?</p> <p>B : I want to visit there to eat delicious seafood.</p> <p>A : That sounds nice.</p> <p>B : How about you?</p> <p>A : I want to visit Tokyo.</p> <p>B : Why do you want to go there?</p> <p>A : I want to visit there to go to Disney Land.</p> <p>B : Wonderful!</p> <p>A : Thank you for taking.</p> <p>B : My pleasure.</p>
<p>予想される生徒の会話例</p> <p>A : Hi, how are you doing?</p> <p>B : I'm good. Thank you. And you?</p> <p>A : I'm OK. Where do you want to visit this winter?</p> <p>B : I want to visit Hokkaido.</p> <p>A : Why?</p> <p>B : I want to visit there to eat delicious seafood.</p> <p>A : That sounds nice.</p> <p>B : How about you?</p> <p>A : I want to visit Tokyo.</p> <p>B : Why do you want to go there?</p> <p>A : I want to visit there to go to Disney Land.</p> <p>B : Wonderful!</p> <p>A : Thank you for taking.</p> <p>B : My pleasure.</p>			

5. 学習のまとめと振り返り【5分】	
<p>○まとめプリント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分がペアに伝えた内容やペアで交流した内容を1文～2文でまとめる。</li> </ul> <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに本時の振り返りを記入する。</li> </ul> <p>○あいさつ</p>	<p>○まとめは、教師による問いかけ (Where do you want to visit, and why?) に対する応答を書かせる。</p> <p>●スペルで困っている生徒には、教科書や辞書を活用させる。</p>


## 板書計画


### Today's goal

行きたい場所とその理由について、  
to を使って尋ねたり、伝えたりできる。

I want to visit (                  ) to (                  ).

～したい
～するために

  
 行動

  
 目的

### Today's lesson

- SANKEN
- 音読
- REVIEW
- ACTIVITY
- まとめ

### Reaction !

Oh, I see. Good. It sounds interesting.  
 Me too. That's good. Wonderful.  
 I think so too.